

都市再生整備計画(第4回変更)

かなざわ はっけい えき しゅうへん
金沢八景駅周辺地区

か な がわけん よこ はまし
神奈川県 横浜市

平成25年8月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の歴史的自然的資産を有効に保存活用する事業 ・自然資源を活かしたまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・御伊勢山・権現山緑地整備事業 ・円海山緑地整備事業 ・大丸山緑地整備事業 ・野七里緑地整備事業 ・釜利谷緑地整備事業 ・峰緑地整備事業 ・公田・荒井沢緑地整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺における歩行者をはじめとした交通ネットワークの安全性・快適性の向上を図る事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東西連絡自由通路等歩行者ネットワーク改善事業 ・駅東西自由通路整備事業 ・駅西側道路(仮称)
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	5,517	交付限度額	2,206.8	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	5,517	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	2,206.8		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0.0		

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		駅西側道路(仮称)	横浜市	直	延長約150m	平成25年度	平成28年度	平成25年度	平成25年度	40	10	10		10
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		御伊勢山・権現山緑地整備事業	横浜市	直	12ha	平成22年度	平成25年度	平成22年度	平成25年度	6	6	6		6
地域生活基盤施設		円海山緑地整備事業	横浜市	直	116ha	平成23年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	83	83	83		83
地域生活基盤施設		大丸山緑地整備事業	横浜市	直	44ha	平成23年度	平成25年度	平成23年度	平成25年度	3,719	3,719	3,719		3,719
地域生活基盤施設		野七尾緑地整備事業	横浜市	直	6ha	平成23年度	平成25年度	平成23年度	平成25年度	832	832	832		832
地域生活基盤施設		釜利谷緑地整備事業	横浜市	直	1ha	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	275	275	275		275
地域生活基盤施設		峰緑地整備事業	横浜市	直	2ha	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	279	279	279		279
地域生活基盤施設		公田・荒井沢緑地整備事業	横浜市	直	1ha	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	165	165	165		165
地域生活基盤施設		駅東西自由通路整備事業	横浜市	直		平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成25年度	1,030	130	130		130
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業		拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										6,429	5,499	5,499	0	5,499

基幹事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園														
河川														
下水道														
合計										0	0	0	0	0

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

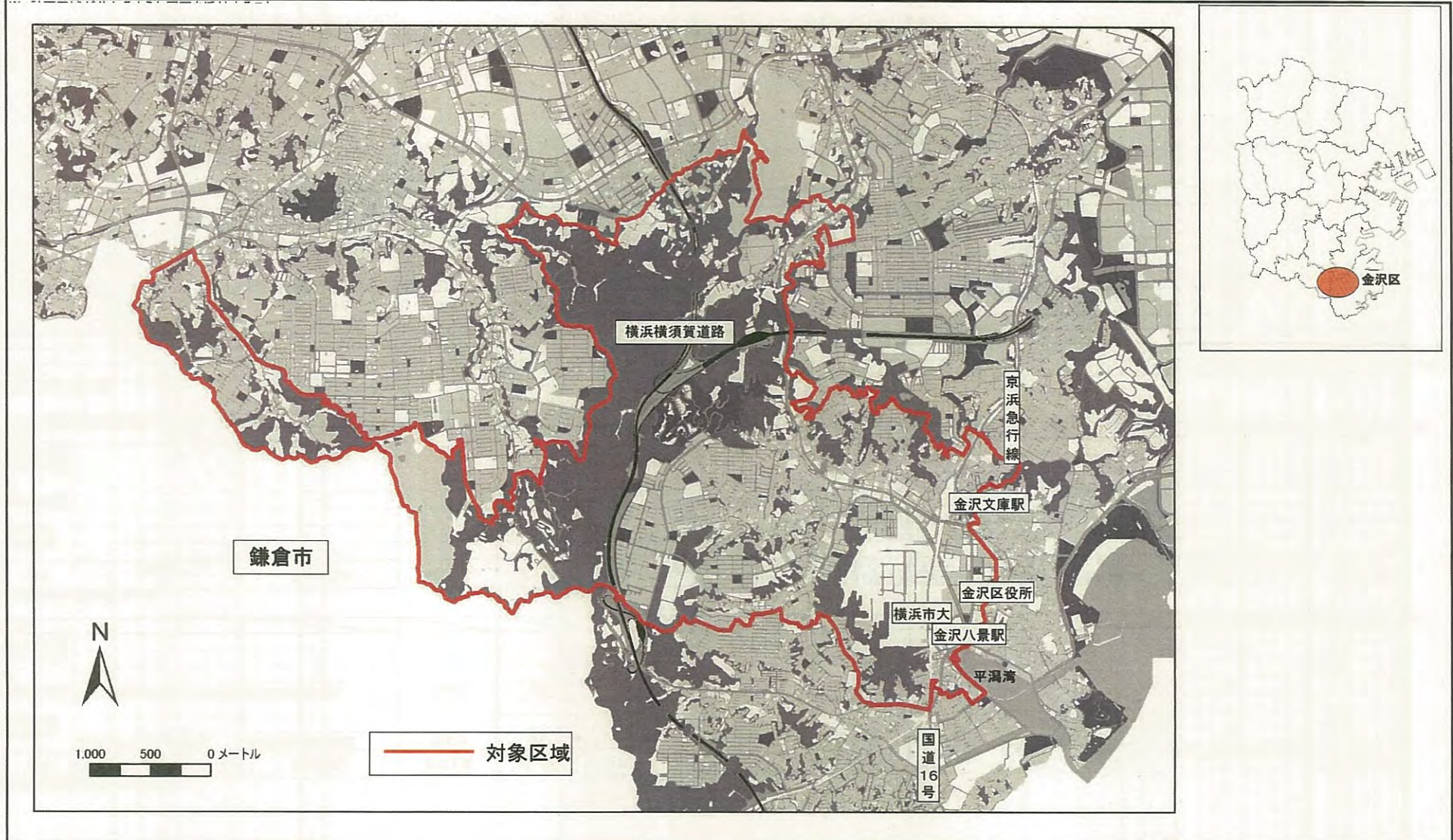
基幹事業 総計(①+②)

総計											5,499	5,499	0	5,499
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	-------	---	-------

…A+A*

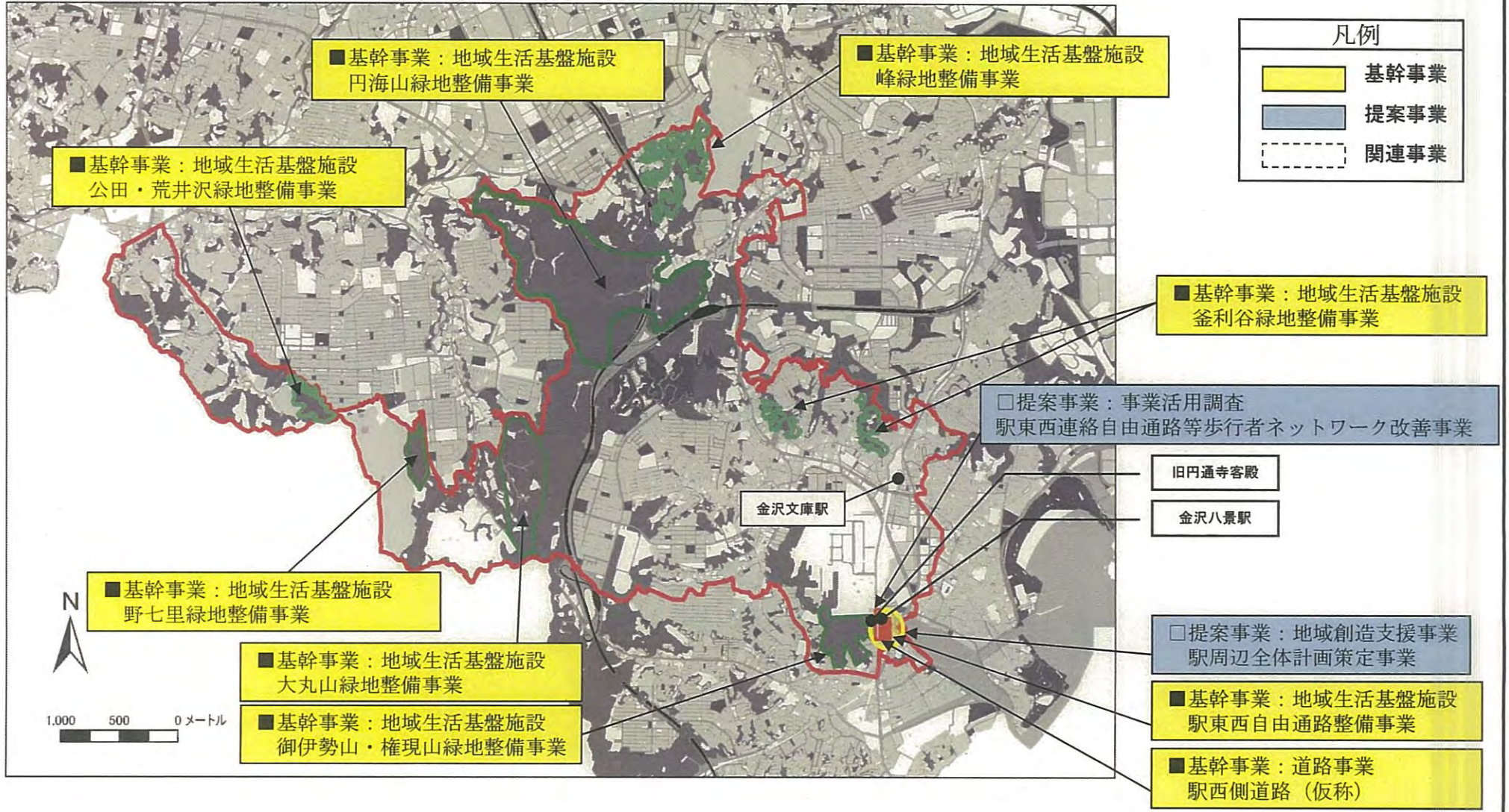
都市再生整備計画の区域

<p>金沢八景駅周辺地区(神奈川県横浜市)</p>	<p>面積 1289 ha</p>	<p>区域 横浜市金沢区瀬戸町、大川町、泥亀一丁目～二丁目、六浦二丁目、釜利谷町、釜利谷西一丁目～六丁目、釜利谷東一丁目～八丁目、釜利谷南一丁目～四丁目、みづ木町、谷津町、磯子区水取沢町、峰町、栄区上郷町、公田町</p>
---------------------------	-----------------------	--



金沢八景駅周辺地区(神奈川県横浜市)整備方針概要図

目標	金沢八景駅東口地区土地区画整理事業や金沢シーサイドラインの接続にあわせて、駅西側に広がる御伊勢山・権現山などの歴史的資産を活かした施設整備を図るとともに、駅を中心とした歩行者ネットワークを形成を図る。	代表的な指標	利用者アンケート駅 (指標)	1.0 (平成21年度) →	1.2 (25年度)
			緑の保全活動に参加した人数 (人/年)	550 (平成23年度) →	605 (25年度)



都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
金沢八景駅周辺地区

平成25年11月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	金沢八景駅周辺地区			面積	1,289ha			
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	5,517百万円	国費率	40%					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【公園】金沢八景西公園(仮称) 【地域生活基盤施設】御伊勢山・権現山緑地整備事業									
		提案事業	【地域創造支援事業】駅周辺全体計画策定事業 【事業活用調査】駅東西連絡自由通路等歩行者ネットワーク改善事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【公園】金沢八景西公園(仮称)		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業			関係機関等との調整に時間を要したため			当初設定した指標「歴史的資産の有効活用」について当該施設の完成を前提としていたため指標自体を削除				
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】駅西側道路(仮称) 【地域生活基盤施設】円海山緑地整備事業、大丸山緑地整備事業、野七里緑地整備事業、釜利谷緑地整備事業、峰緑地整備事業、公田・荒井沢緑地整備事業、駅東西自由通路整備事業		金沢八景駅を中心とした歩行者ネットワークの形成を図りつつ、自然資産を活かしたまちづくりを推進するため			緑地整備事業の追加を踏まえ、新たに指標「緑の保全活動」を追加				
提案事業												
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度				
	指標1	施設整備による市民満足度	割合	1	H21	1.2	H25	計測不能	-	あり なし ●	駅東西自由通路及び西側道路が完成しないと評価できないため計測不能	平成29年度
	指標2	緑の保全活動	人/年	550	H23	605	H25	624	○	あり なし -	愛護会等の管理やイベント活動に参加する人数の増加につながった。	-
	指標3									あり なし		
	指標4									あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度				
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	緑地の指定等の拡大及び買収・整備等により、保全活動人数が増加し、効果が出たものと思われる。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

金沢八景駅周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
金沢八景駅東口地区土地区画整理事業や、金沢シーサイドラインと京浜急行金沢八景駅の接続にあわせて、金沢八景駅西側に広がる御伊勢山・権現山などの施設整備を図るとともに、横浜市大などの教育施設との交通動線の改善を図ることにより、駅を中心とした歩行者ネットワークの形成を図りつつ、歴史的資産や円海山・北鎌倉近郊緑地保全区域の円海山緑地、大丸山緑地など自然資源を活かしたまちづくりを推進します。	施設整備による市民満足度	単位：割合	1	H21	1.2	H25	計測不能	H25
	緑の保全活動	単位：人/年	550	H23	605	H25	624	H25
		単位：		H		H		H
		単位：		H		H		H

円海山緑地整備事業



大丸山緑地整備事業



駅東西自由通路整備



※イメージであり、今後の設計等で変更となる場合があります

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 緑地整備事業及び東口土地区画整理事業の進展にあわせて、金沢八景駅の拠点性が高まりつつある中で、駅周辺の歩行者ネットワークの改善に向けて、各種条件整理や現状分析等を行い駅東西自由通路及び西側道路の整備に着手した。 地区の貴重な自然資産となる緑地の保全活動の拡充・推進及び持続についての検討が求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者ネットワーク改善のための基盤施設整備を、土地区画整理事業、金沢シーサイドライン延伸事業などの周辺事業と計画・施工面で連携しながら完了させる。 緑地の保全活動の主体となる愛護会の活動を支援するとともに、保全のための啓発事業やボランティアの育成を行うことで、保全活動の拡大・拡充を進める

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			※計画期間中に事業を追加・削除しているため、目標に記載した個別事業名については適宜、加除している
B. 目標を定量化する指標	●		「歴史資産の有効活用」	削除(H25年8月第4回変更)	目標設定の根拠となる事業を計画から削除したため
				「緑の保全活動」を追加(H23年7月第1回変更)	緑地整備事業を追加したことによる新たな目標設定
C. 目標値	●			「緑の保全活動」:605人/年	緑地整備事業を追加したことによる新たな目標設定
D. その他(計画区域及び面積)	●		248ha	1,289ha	事業追加による増

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	駅西側道路(仮称)	-	なし	10	道路整備 (L=150m)	駅周辺の歩行者ネットワークの強化を図るため追加(平成25年3月第3回変更)	「施設整備による市民満足度」の指標に関連するが、目標及び指標は据え置く	-	●※2
公園	金沢八景西公園(仮称)	300	公園整備 (3,000㎡)	0	0㎡	地権者との用地交渉が難航し、期間内の実施が困難になったため平成25年8月第4回変更で削除した	当初設定した指標「歴史的資産の有効活用」について当事業の完了を前提としていたため指標を削除	-	-
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	御伊勢山・権現山緑地整備事業	100	緑地整備 (12ha)	6	緑地整備 (12ha)	散策路の整備範囲見直しによる事業費の減	影響なし	●※2	
地域生活基盤施設	円海山緑地整備事業	-	なし	83	緑地整備 (116ha)	自然資産を活かしたまちづくりを進めるため事業を追加(平成22年7月第1回変更)	緑地整備事業の追加を踏まえ、新たに指標「緑の保全活動」を追加		●※2
地域生活基盤施設	大丸山緑地整備事業	-	なし	3,719	緑地整備 (44ha)	自然資産を活かしたまちづくりを進めるため事業を追加(平成22年7月第1回変更)	緑地整備事業の追加を踏まえ、新たに指標「緑の保全活動」を追加	●※2	
地域生活基盤施設	公田緑地整備事業	-	なし	0	0ha	平成22年7月第1回変更で追加したが、期間内の実施が困難になったため平成25年8月第4回変更で削除した	「緑の保全活動」の指標に関連するが、目標及び指標は据え置く	-	-
地域生活基盤施設	野七里緑地整備事業	-	なし	832	緑地整備 (6ha)	自然資産を活かしたまちづくりを進めるため事業を追加(平成22年7月第1回変更)	緑地整備事業の追加を踏まえ、新たに指標「緑の保全活動」を追加		●※2
地域生活基盤施設	釜利谷緑地整備事業	-	なし	275	緑地整備 (1ha)	自然資産を活かしたまちづくりを進めるため事業を追加(平成24年3月第2回変更)	「緑の保全活動」の指標に関連するが、目標及び指標は据え置く		●※2
地域生活基盤施設	峰緑地整備事業	-	なし	279	緑地整備 (2ha)	自然資産を活かしたまちづくりを進めるため事業を追加(平成24年3月第2回変更)	「緑の保全活動」の指標に関連するが、目標及び指標は据え置く		●※2
地域生活基盤施設	公田・荒井沢緑地整備事業	-	なし	165	緑地整備 (1ha)	自然資産を活かしたまちづくりを進めるため事業を追加(平成24年3月第2回変更)	「緑の保全活動」の指標に関連するが、目標及び指標は据え置く		●※2
地域生活基盤施設	駅東西自由通路整備事業	-	なし	130	東西自由通路の整備	駅周辺の歩行者ネットワークの強化を図るため追加(平成24年3月第2回変更)	「施設整備による市民満足度」の指標に関連するが、目標及び指標は据え置く		●※2
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
工地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

※2 当該計画期間における事業範囲のみ

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	駅周辺全体計画策定事業	6	乗換動線や周辺施設整備に係る計画策定	3	乗換動線や周辺施設整備に係る計画策定	なし	-	●	
事業活用調査	駅東西連絡自由通路等歩行者ネットワーク改善事業	15	利便性向上に係る調査検討	15	利便性向上に係る調査検討	なし	-	●	
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
土地区画整理事業		金沢八景駅東口地区	9,060	9,060	昭和61年度～平成28年度	昭和61年度～平成28年度	平成22年4月仮換地指定 平成24年7月一部使用収益開始	
新都市交通 延伸事業		金沢シーサイドライン	5,000	5,000	平成23年度～平成28年度	平成23年度～平成28年度	平成25年度着工	
道路		駅西口駅前道路環境整備事業	20	20	平成22年度～平成25年度	平成22年度～平成25年度		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	割合	横浜市市民意識調査(市内在住満20歳以上の男女5000人を無作為抽出)から「最寄駅周辺の整備」に満足している人の割合	0.64	H13	1	H21	1.2	H25	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	-	計測不能	事後評価	-		●
指標2	人/年	市民の森愛護会活動参加者数を計測			550	H23	605	H25	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	●	624	事後評価	●		-
指標3									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			
指標4									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	駅西側道路及び駅東西自由通路の整備が完了しないと評価できない指標のため計測不能(平成28年度完成見込み)	調査対象者が市内在住者(市内全域)であるため、指標の数値に当計画の事業以外の要因が関与している
指標2	対象事業箇所の増に伴う活動参加者数の増	特になし
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

緑地の指定等の拡大及び買収・整備等により、保全活動人数が増加し、効果が出たものと思われる。

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2	指標○	指標○	指標○
指標名		緑の保全活動			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	駅西側道路(仮称)	—	地区内には大規模な緑地が多く、区内の貴重な緑として存在している。それらの土地を取得し、整備していくことにより、保全活動に関わる愛護会等の活動参加者が増えたものと思われる。		
	御伊勢山・権現山緑地整備事業	○			
	円海山緑地整備事業	○			
	大丸山緑地整備事業	○			
	野七里緑地整備事業	○			
	釜利谷緑地整備事業	○			
	峰緑地整備事業	○			
	公田・荒井沢緑地整備事業	○			
駅東西自由通路整備事業	—				
提案事業	駅周辺全体計画策定事業	—			
	駅東西連絡自由通路等歩行者ネットワーク改善事業	—			
関連事業	金沢八景駅東口土地区画整理事業	—			
	新都市交通 延伸事業	—			
	道路整備	—			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	貴重な緑の保全活動を行っていく愛護会等との連携を図る。		
-------	-----------------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標○			指標○			指標○			
指標名		施設整備による市民満足度												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	駅西側道路(仮称)	××	整備が完了しないと評価できない指標であるため、計測不能。	I										
	御伊勢山・権現山緑地整備事業	—												
	円海山緑地整備事業	—												
	大丸山緑地整備事業	—												
	野七里緑地整備事業	—												
	釜利谷緑地整備事業	—												
	峰緑地整備事業	—												
	公田・荒井沢緑地整備事業	—												
	駅東西自由通路整備事業	××												
提案事業	駅周辺全体計画策定事業	×												
	駅東西連絡自由通路等歩行者ネットワーク改善事業	×												
関連事業	金沢八景駅東口土地区画整理事業	△												
	新都市交通 延伸事業	—												
	道路整備	—												

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	西側道路及び東西自由通路について、遅滞なく完了する				
------------------	---------------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
自然資源の有効活用(散策路 や案内板等の整備)及び保全	緑地内の安全性を確保するための散策路や案内板を整備することにより、森づくりボランティア育成講座など自然資源を活かしたソフト的な事業を展開することができた。	特になし	この自然資源である緑の保全活動の拡大・拡充及び持続させる手法の検討等
駅の東西方向に係る交通ネットワーク及び駅機能の充実	バリアフリー基本計画に沿った歩行者を中心とする駅周辺の交通ネットワーク改善のため、京浜急行金沢八景駅の東西地域の連絡機能を強化する駅東西自由通路の整備と、駅西側の通路の拡幅整備を行うための検討を実施した。	隣接する駅東西自由通路の整備と計画・施工面で連携しながら、駅西側道路の整備を行う。	
金沢シーサイドラインの八景駅への接続における利用者の利便性向上	金沢シーサイドラインと京浜急行の金沢八景駅間の乗換機能及び駅東西の連絡機能を担う、駅東西自由通路の設計を実施した。	土地区画整理事業、金沢シーサイドライン延伸事業などの周辺事業と計画・施工面で連携しながら駅東西自由通路の整備を行う。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	自然資源である緑の保全活動の拡大・拡充	愛護会等を支援し、緑の保全活動を主体的に行ってもらおう。	緑の保全活動の啓発及び森づくりボランティア育成講座などの拡充

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	歩行者ネットワーク強化のための基盤施設を完了させる。	・歩行者ネットワーク強化の基盤施設を、土地区画整理事業、金沢シーサイドライン延伸事業などの周辺事業と計画・施工面で連携しながら完了させる。	・駅東西自由通路整備事業 ・駅西側道路整備事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		地区内の住民又は施設利用者を対象とした調査に基づく目標設定とすることがある
	うまく いかなかった点	指標1「施設整備による市民満足度」の評価値について、市域全体を対象とした調査であるため、当計画の事業実施による効果が薄まって数値化される可能性がある。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		特定事業の効果を測定する指標とするのではなく、複数の事業の効果が反映される指標を設定することが望ましい
	うまく いかなかった点	計画期間中に完成しない施設の整備事業について、途中段階における成果を評価する指標を設定することができなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

<ul style="list-style-type: none"> ・今後の交付金の活用予定 平成26年度より、今回事後評価を実施する地区の次期計画として、「金沢八景駅周辺地区」を実施する。 ・今後の事後評価を予定する地区 平成26年度については実施する地区はありません。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	平成25年10月25日～11月8日	平成25年10月25日～11月8日	担当課への電話、FAX、電子メール	都市整備局企画課
広報掲載・回覧・個別配布	ホームページ及び窓口で公表していることを掲載	広報よこはま磯子区版、金沢区版、栄区版 各10月号	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	都市整備局企画課、市街地整備調整課、金沢区役所で閲覧	平成25年10月25日～11月8日	平成25年10月25日～11月8日		

住民の意見	
-------	--

都市再生整備計画 事後評価方法書

金沢八景駅周辺地区

平成 25 年 6 月

神奈川県横浜市

(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

目 次

(1)成果の評価.....	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況.....	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測.....	4
(2)実施過程の評価.....	5
1) モニタリングの実施状況の確認.....	5
2) 住民参加プロセスの実施状況の確認.....	5
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認.....	5
(3)効果発現要因の整理.....	6
(4)今後のまちづくり方策の作成.....	6
(5)事後評価原案等の公表.....	6
(6)評価委員会の審議.....	6
(7)その他の機会における有識者からの意見聴取の予定.....	6
(8)事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況.....	6

※ 記入にあたっての留意事項

方法書提出様式の記入にあたっては、下記の点に留意してください。

1. 事後評価ならびにフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等を具体的に記載してください。
2. 記入項目の詳細や記入例については「方法書作成の手引き」を参照してください。
3. 数値及び文章は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。

【1】成果の評価

都市再生整備計画に取組んだ取り組みの成果

指標 1:	施設整備による市民満足度		
A: 事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	平成 21 年 7 月 1 日～7 月 20 日		
②実施主体	横浜市政策局政策課		
③計測手法	市内在住の満 20 歳以上の男女から 5000 人を無作為抽出。郵送留置、訪問回収法		
B: 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	—		
⑤実施主体	—		
⑥データの計測手法	評価値を測定すべき時期において整備未着手であり、評価値を求めることができないため、「測定不能」とします。		
⑦評価値の求め方	—		
⑧確定/見込みの別	—	確定	
	—	見込み	
C: フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性	○	あり	
		なし	
⑩計測時期	事業が終了して概ね半年後		
⑪実施主体	横浜市		
⑫計測手法	周辺住民及び駅利用者等へのアンケート調査		

指標 2: **緑の保全活動**

A: 事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	都市再生整備計画変更時（平成 23 年度）		
②実施主体	横浜市 環境創造局 みどりアップ推進課		
③計測手法	市民の森愛護会活動参加者数を計測		
B: 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	平成 25 年 6 月 1 日		
⑤実施主体	横浜市 環境創造局 みどりアップ推進課		
⑥データの計測手法	市民の森愛護会活動参加者数を計測		
⑦評価値の求め方	市民の森愛護会活動参加者数を計測		
⑧確定/見込みの別	○	確定	
		見込み	
C: フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あり	
	○	なし	
⑩計測時期			
⑪実施主体			
⑫計測手法			

指標3：		
A：事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点		
②実施主体		
③計測手法		
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期		
⑤実施主体		
⑥データの計測手法		
⑦評価値の求め方		
⑧確定／見込みの別	確定	
	見込み	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップの必要性	あり	
	なし	
⑩計測時期		
⑪実施主体		
⑫計測手法		

指標4：		
A：事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点		
②実施主体		
③計測手法		
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期		
⑤実施主体		
⑥データの計測手法		
⑦評価値の求め方		
⑧確定／見込みの別	確定	
	見込み	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップの必要性	あり	
	なし	
⑩計測時期		
⑪実施主体		
⑫計測手法		

(1) 成果の目標		
2. その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計画		
数値指標：		
記述理由		
A：事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点		
②実施主体		
③計測手法		
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期		
⑤実施主体		
⑥データの計測手法		
⑦評価値の求め方		
⑧確定／見込みの別	確定	
	見込み	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップの必要性	あり	
	なし	
⑩計測時期		
⑪実施主体		
⑫計測手法		

(2)実施項目のB

① モニタリングの実施状況の確認

A：都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
- イ 都市再生整備計画に記載しなかった
- ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B：実施事項（※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入）

なし

C：事後評価時の確認方法

①時 期

②確 認 先

③確認方法

② 住民参加プロセスの実施状況の確認

A：都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
- イ 都市再生整備計画に記載しなかった
- ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B：実施事項（※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入）

なし

C：事後評価時の確認方法

①対 象

②時 期

③確 認 先

④確認方法

③ 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

A：都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
- イ 都市再生整備計画に記載しなかった
- ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B：実施事項（※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入）

なし

C：事後評価時の確認方法

①対 象

②時 期

③確 認 先

④確認方法

(4) 事後評価原案等の公表		
	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	平成 25 年 10 月下旬から 11 月上旬	平成 26 年 3 月
②実施主体	都市整備局企画課	財政局公共施設・事業調整課
③公表方法	ホームページに掲載し、都市整備局企画課及び市街地整備調整課において閲覧による公表を予定している。期間は 2 週間とする。	ホームページに掲載し、財政局公共施設・事業調整課、都市整備局企画課及び市街地整備調整課において閲覧による公表を予定している。公表期間は 1 年間とする。フォローアップを実施する場合にはフォローアップ結果の公表も 1 年間とする。

(5) 評価委員会の審議	
①時 期	平成 25 年 11 月
②実施主体	財政局公共施設・事業調整課
③設置・ 運用方法	学識経験者や有識者からなる 3 人を委員とする横浜市都市再生整備計画事業評価委員会において、まちづくりの観点から都市再生整備計画の事業評価を審議する。

(6) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定	
①聴取方法	10～11 月に評価委員に事前説明を実施する予定です。

※ (3) ～ (6) の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

(7) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況	
①予算措置 の状況	<input type="checkbox"/> ア 費用は発生しない <input checked="" type="checkbox"/> イ 費用は発生するが、予算措置を講じている <input type="checkbox"/> ウ 費用は発生するが、予算措置は講じていない <input type="checkbox"/> エ その他 ()

都道府県名	神奈川県
市町村名	横浜市
地区名	金沢八景駅周辺地区
計画期間	平成21～25年度
作成者	部署 都市整備局市街地整備調整課
	役職
	氏名 川田 洋平
連絡先	TEL 045-671-2723
	FAX 045-664-7694
	E-mail tb-seibichosei@city.yokohama.jp